

## 第9回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

平成28年11月10日（木）に第9回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院2病棟6階カンファレンス室で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、附属病院の職員の他にも、院外の医師、理学療法士、看護師、訪問看護師と様々な職種の方々が27名参加されました。

当院の吉野茂文腫瘍センター副センター長より開会の挨拶があり、当院の結城美重看護師長を司会として、宮内副看護師長の「緩和ケアミニレクチャー」から始まり、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

### 緩和ケアミニレクチャー「緩和ケア病棟ってどんなところ？」

山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

宮内貴子副看護師長

### 事例：「長期にわたるがん治療を中止し、緩和ケア病棟へ転院した前立腺がん症例」

山口大学医学部附属病院 泌尿器科 井上亮先生

山口宇部医療センター 緩和ケア科 小野田秀子先生

参加者の方々からは、「患者さんの今までの経過を改めて振り返ることが出来て良かった」、「転院先の患者さんの情報を聞くことが出来て良かった」、などの意見が寄せられ、有意義な検討会となり無事終了することができました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 《検討会風景》



